

川 建 土 第 3 4 0 号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 殿

川崎町長 佐 藤 昭 光



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（提出）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別紙により提出します。

川崎町建設水道課

担当：松尾

TEL 0224-84-2111（内線 240）

FAX 0224-84-5619

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

宮城県川崎町

- 「高速道路はこれ以上必要ないのでは」の世論に対し、明確な「必要である」理由を打ち出す必要がある。
- 費用対効果の現実を隠さずオープンにすること。「熊の通る道路」は不要で、蜂の巣のごとき3階建て交差の道路は、本当に東京の発展に役立つというのか、国も言い、地方にも言わせること。1本の道路を造るのに、いくらの経費がかかるのか、3階建て道路を1本造る費用を投入すると、宮城の道路はどう変わるのか。経済成長にとって、食糧安保等、防衛の観点にとって、道路はどんな戦略的価値があるのか、シンプルに説明する必要がある。

②-1 地域の現状と抱える課題

宮城県川崎町

○ 現状

- 国道 457 号の川内地内芋の窪橋はケタがボロボロ。橋の穴から下の川が見える状況になってやっと補強した。しかし、この橋は車の交互通行を余儀なくされる狭い道路で不便このうえない。
- さらに町に近づいて県道蔵王川崎線にかかる北川橋はぎりぎり交差可能であるため、すれ違いに接触事故が起こる。
- 「国営みちのく杜の湖畔公園」の整備はほぼ順調に進んでいると思うが国道 286 号の整備が公園整備に追いついていない。
- この他、3 ケタ国道には歩道が未整備な所が数知れずあり、県・市町村道に至っては、何をかいわんやの状況である。

○ 課題

- 高規格道路があるというなら、低規格道路を地方・地域で整備することによって暮らしがよくなり地域を活性化する。道路は、国土活性化の起爆剤になる。
中央部の道路がもういいというなら、その資金を、いかに地方に回すかに腐心してもらいたい。
都心に使う資金を地方に回し、都心が震災等でひっくり返ったとき、スムーズに地方が、心身ともに救ってやろうというようにさせておくべきである。
- 公園だけが立派になってもアクセス道路が貧弱ではどうにもならない。早急に改良を行なうべきである。

②-2 地域の目指すべき将来像

宮城県川崎町

- 道路は地域発展の血管であろう。
- 当町にとって、国道 286 号さえ整備されれば、仙台の近郊として発展が約束されている好立地なのに、30 年来のこの念願に国・県は答えていない。

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

宮城県川崎町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・地域活力の向上 及び都市間交通 の利便性の向上	・ 主要地方道愛島線の延長 ・ 国道 286 号の整備	・ 愛島からトンネル等で国道 286 号基石に結べばこの 5 ㎞の開通により、山形、仙台近郊と仙台空港が大変近くなり、広域交流、観光振興の拡大、間違いない。 ・ 上記と同様で経済、観光面での仙台・山形圏の一体発展が図られるし、国営みちのく杜の湖畔公園、釜房ダムの存在感が圧倒的になる。	